

単元指導計画と評価規準

科目名	家庭総合
単元名	第4章 高齢者とかかわる
内容のまとめ	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (4) 高齢者のかかわりと福祉

1 単元の目標

- (1) 高齢期の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護、国内および地域における高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題及び高齢者福祉について理解を深めるとともに、高齢者の心身の状況に応じて適切にかかわるための生活支援に関する技能を身に付ける。
- (2) 高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について、地域の一人としての観点から問題を見出して課題を設定して解決策を構想し、考察したことを論理的に表現するなどして、高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方を工夫し課題を解決する力を身に付ける。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢者にまつわる家族や地域及び社会の課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・高齢期の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解を深め、高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援に関する技能を身に付けている。 ・高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題及び高齢者福祉、地域における高齢者にまつわる課題について理解を深めている。	高齢者の自立生活を支えるために、高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方について地域における問題を見だして課題を設定し、地域の一人としての役割や解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢者との関わりと福祉について、家族や地域及び社会の課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

3 指導と評価の計画（10 時間）

- | | |
|-----------------|------|
| (1) 高齢社会に生きる | 1 時間 |
| (2) 高齢者を知る | 4 時間 |
| (3) 高齢者の自立を支える | 3 時間 |
| (4) 高齢社会を支えるしくみ | 2 時間 |

時間	【ねらい】・学習活動	重点	記録 [※]	備考 ・は評価規準（ ）は評価方法
1	<p>【单元全体を貫く課題】</p> <p>家族や地域社会人として、高齢者と共に支えあいながら生きていくためには、どのようにならなければならないのだろうか。</p>			
	<p>・学習の前に、单元を貫く課題について自ら考える。</p>	思 ①		<p>・指導に生かす評価として、单元の学習の前に、单元を貫く課題について考えている。（ワークシート）</p>
	<p>【ねらい】超高齢社会の現状を理解するとともに、問題を見出し、課題を設定することができる。</p>			
	<p>・グラフの推移から、超高齢社会の現状を理解し、自分の住む地域の課題について話し合い、問題点は何かを推察する。</p>	思 ②	○	<p>・海津市の高齢化の現状や、日常生活を振り返り、自分の住む地域の課題について、問題を見出している。（ワークシート）</p>
2 ・ 3	<p>【ねらい】高齢者の心身の特徴を理解し、高齢者へ適切な支援の方法や、関わり方等について考える。</p>			
	<p>・老化に伴って高齢者の心身はどのように変化するか、意見を出し合う。</p> <p>・実際に、ゴーグルや手袋、重り等を着用し、高齢者の生活場면을擬似的に体験する。実際に生活場面においてどのような課題・解決策があるか考え、交流する。</p>	思 ③ 態 ①	○ ○	<p>・自らの実体験や仲間との情報共有から、高齢者との関わり場面を思い出したり、老化による心身の変化について考えたりしている。</p> <p>・高齢者体験を通して生活場面における課題を明らかにし、その課題の解決方法を考えている。（ワークシート）</p> <p>・日常生活における課題や解決策の考察を通し、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。（行動記録、ワークシート）</p>
4	<p>【ねらい】高齢者の生活課題を理解できる。</p>			
	<p>・認知症、ヤングケアラーや介護離職、高齢者虐待など高齢者の生活に関わる様々な問題や、介護の実態について理解する。</p>	知 ①	(★)	<p>・高齢者の生活、ヤングケアラーや介護離職、高齢者虐待といった介護の課題点について理解している。（ワークシート、定期考査）</p>
5	<p>【ねらい】高齢者の生活課題の解決方法について考えることができる。</p>			
	<p>・高齢者の生活や介護における2つの事例をもとに、本人・地域住民・地方公共団体ができる支援方法について考え、交流する。</p>	思 ④	○	<p>・前時の学習内容を踏まえ、高齢者の生活課題を設定し、その解決方法を考え、工夫している。（ワークシート）</p>

6	<p>【ねらい】介護の意義・目的や介護予防について理解できる。</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護状態となりえる様々な原因について理解する。 ・事例を通し、生活の質を高めるためにどのような手立てがあるか考え、介護予防の重要性を理解するとともに、介護の意義・目的を理解する。 	知 ② 知 ③	(★) ○	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護状態となりえる様々な原因について理解している。 (ワークシート、定期考査) ・事例に適した支援の方法について考察し、介護予防の重要性や介護の目的を理解している。(ワークシート)
7 ・ 8	<p>【ねらい】介助体験を通し、介助の知識・技術を身に付けるとともに、高齢者との関わり方を考えることができる。</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> ・手足に重りを付けた状態で自助具を使った食事体験や衣服の着脱、車いすでの移動・移乗方法を確認し、実体験することで、高齢者の理解を深める。 ・介助の場面では高齢者とどのように関わるとよいか、体験を踏まえ考察する。 	知 ④ 思 ⑤	(★) ○	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の着脱方法や車いすでの移動・移乗方法を正しく理解し、実践できる技能を身に付けている。(行動記録、定期考査) ・声掛けや目線、体への触れ方など、配慮の仕方についてまとめている。 (ワークシート)
9 ・ 10	<p>【ねらい】高齢者を支える制度について理解し、これからの介護における課題と解決について考えることができる。</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度の仕組みや地域包括ケアシステムについて理解する。 ・これからの介護における課題と解決方法を考察する。 ・単元全体を貫く課題に対する学習後の考えを記入する。 ・学習前後の自分の変容に気付かせるため、学習前と学習後の記述内容を比較する。 	知 ⑤ 思 ⑥ 態 ②	○ ○	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の包括ケアシステムについてまとめている。 ・単元全体の学習を踏まえ、これからの介護における課題を設定し、その解決方法を考え、工夫している。 (ワークシート) ・これからの介護における課題の解決について、自分や家庭、地域の生活の充実向上にむけ、主体的に取り組もうとしている。 (ワークシート)

※備考に記入している単元の評価規準に照らして、全員の学習状況を「記録に残す評価」に○を付している。

定期考査により「記録に残す評価」とする箇所には、(★)を付している。

4 学習活動と評価方法（学習指導案）

科目名	家庭総合	使用教科書	家庭総合（実教出版）	
単元名	第4章 高齢者とかかわる			
本時の主題	高齢者の生活の課題解決に向けて（5時間目／10時間）			
指導観	超高齢社会を迎えた日本において、高齢者との関わり方を考えることは共生社会の実現のために必要不可欠である。高齢者の生活課題を理解したうえで、課題や問題点を明確にし、課題を解決するために自分自身や社会は何ができるのか考え、地域社会人としての自立へとつなげていく授業実践を目指す。			
本時の目標	高齢者の生活課題の解決方法について考えよう。			
過程	指導内容	生徒の学習活動	評価規準と評価方法	指導上の留意点
導入 5分	前時の振り返り 本時の目標の確認	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の生活や介護の課題点についてKahoot!を用い振り返る。 本時の授業について確認をする。（MetaMoji起動） 		<ul style="list-style-type: none"> 前時までの振り返りを行い、本時の授業を確認する。
展開 40分	個人活動 グループ活動 発表	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の生活や介護における2つの事例を提示し、生活課題を明らかにしたうえで、本人ができることや、地域住民・地方公共団体による支援方法の具体例等を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><事例 A> 屋間独居の高齢者で、交通手段や生きがいについて悩んでいる例</p> <p><事例 B> 娘が県外に住むひとり暮らしの高齢者で、腰痛がひどく外出が億劫になっている人の例</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> グループごとに事例A、Bについてそれぞれの意見を交流し、MetaMojiに集約する。 代表者が事例A、Bに関する各グループの意見を発表し、共通点や相違点について確認をする。 	<p>○評価規準</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時の学習内容を踏まえ、高齢者の生活課題を設定し、その解決方法を考え、工夫している。 <p>○評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート MetaMojiで作成したグループシート <p><Aの例></p> <ul style="list-style-type: none"> 事例に応じた支援方法について、具体的に考え、提示することができる。 	<p><Cへの手立て></p> <ul style="list-style-type: none"> 本事例においてはどのような点が課題となるか考えさせる。 <p><Bを実現させるための指導></p> <ul style="list-style-type: none"> 事例における生活課題について、本人ができることを考え、さらにどのような支援が必要か、地域住民・地方公共団体それぞれの視点で考えさせる。
まとめ 整理 5分	本時のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめをする。 		<ul style="list-style-type: none"> 地域社会人として自立へとつなげていく視点から、本時の学習内容をまとめる。

5 成果と課題

	学習活動における具体的評価規 準 (B)	「十分満足できる」と判断される状況 (A)	「努力を要する」と 判断される状況 (C)
評価	評価規準 【思考・判断・表現】 前時の学習内容を踏まえ、高齢 者の生活課題を設定し、その解 決方法を考え、工夫している。 (75%)	事例に応じた支援方法について、具体的 に考え、提示することができる。 (25%)	考察していない。 (0%)
生徒の 状況	高齢者の生活課題を設定し、そ の解決方法を考え記述できてい る。	事例に応じて求められる支援の在り方を 考え、適切な解決方法を具体的に考え記 述できている。	該当者なし
記述例	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停が遠いので市にお願い して増やしてもらおう。 ・歩くのが大変なので自転車を 買う。 ・娘が県外に住んでいるので近 くに引っ越してもらおう。 ・腰痛がひどく、ごみ出しがで きないので、週1回に減らす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動手段がなく困っているのでタクシ ーを利用する。自治体がクーポンを発行 し、費用を負担する。 ・出歩けないために交流が少なくなっ ているので、近所の人との交流を増やす。 ビデオ通話を会話して友達と会話でき るようにする。 ・娘が県外で不安なので、見守りができ るカメラを設置する。 ・玄関の外にごみを出しておいて、近所 の人に自分のごみ出しのついでに一緒に 持って行ってもらおう。 	

【成果】

- ・導入に kahoot!を用いることで、ゲーム感覚で前時までの復習を行うことができた。
- ・前時までの授業で生活課題とその解決について触れ、次に地域の課題について、といった流れをつくる
ことができた。
- ・メタモジのグループシートを活用し、海津市の一員として何ができるか、生徒の視点から考えることが
できた。
- ・最後のまとめでは、海津市でどのような取組がされているか紹介するだけでなく、その他の自治体での
取組が紹介されていてよかった。

【課題】

- ・プリントに記入してから MetaMoji のグループシートに記入し、全体交流といった流れだったが、時間
のロスを省くために最初から MetaMoji に記入させた方が良かったのではないかな。
- ・前時の振り返りに時間を使いすぎており、各グループの意見をまとめたあと、もう一度生徒が考える時
間がとれていなかった。
- ・2つの事例から課題や解決方法を考えたが、1つでもよかったのではないかな。
- ・教員が授業のまとめを話したが、生徒なりにまとめを考えられた方がよかったのではないかな。

